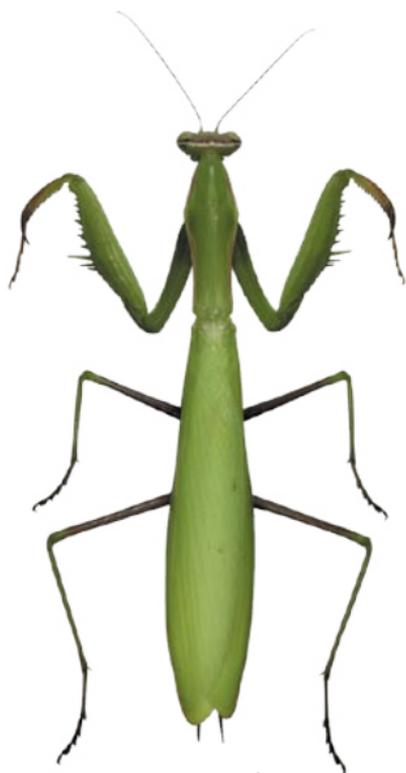


ウスバカマキリ *Mantis religio*



メス 緑色型

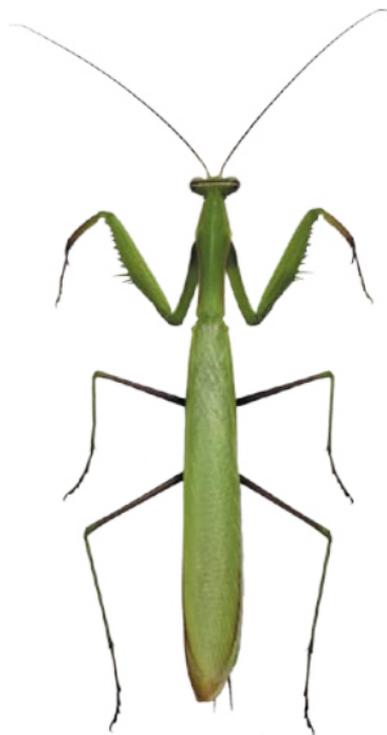


メス 褐色型

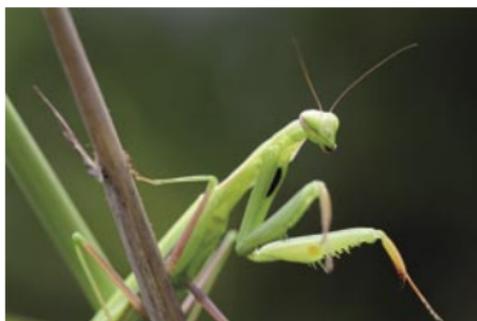
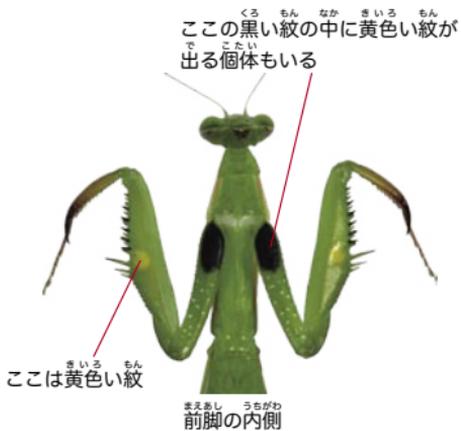
河川敷や草原にすむ。分布は局所的でとても珍しいカマキリ。兵庫県版レッドリスト2012、Aランク。体長♂52～66mm、♀59～66mm。9月～11月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島；東南アジア、旧北区に広く分布。

兵庫県内の分布域





オス ^{りよくしよくがた} 緑色型



とても美しいカマキリ 兵庫県播磨東部 2014年9月



^{せいそくち かんきよう}
生息地の環境

コカマキリ *Statilia maculata*



メス かっしよくがた 褐色型



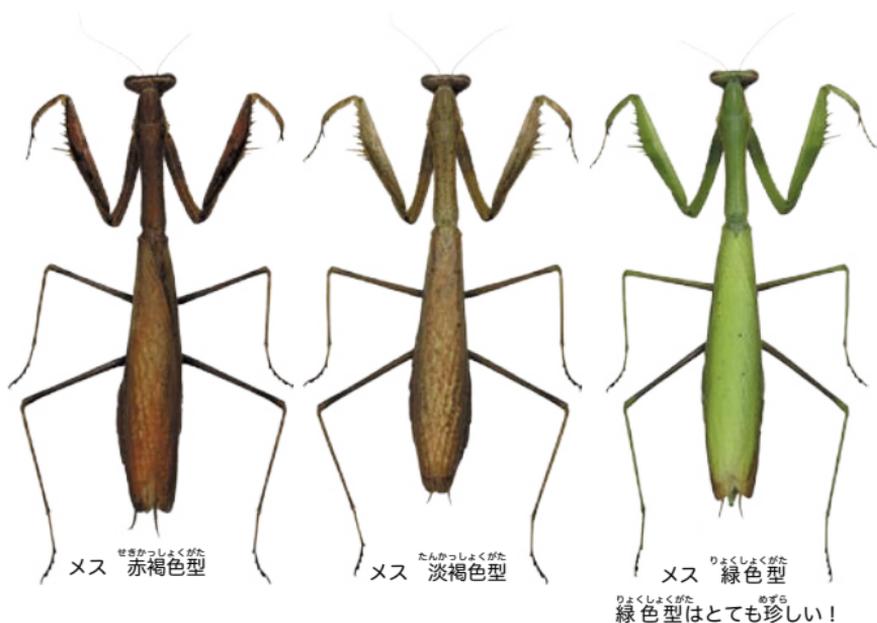
オス かっしよくがた 褐色型

はやし、へり、くさはら、ちひょう、ちか
 林の縁や草原にすむ。地表近くにいること
 が多い。いろいろな体色がある。体長♂36
 ~55mm、♀46~63mm。9月~11月に
 せいちゅう、ほんしゅう、しこく、きゅうしゅう、やくしま、たねがしま
 成虫。本州、四国、九州、屋久島、種子島；
 たいわん、ちゅうごく
 台湾、中国。

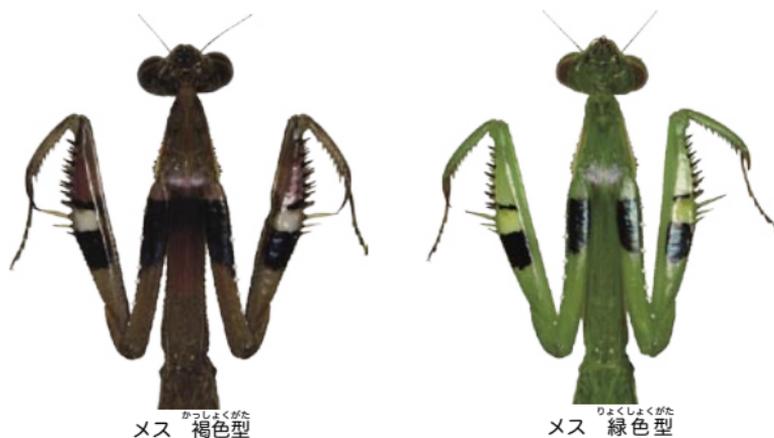
ひょうごけんない、ぶんぶいき
 兵庫県内の分布域



ココマキリの^{いろ}色いろいろ



ココマキリの^{まえあし}前脚の^{うちがわ}内側



オオカマキリ *Tenodera sinensis*



とにかく大きくてかっこいい。はやし 林の縁にすむ。クズがは生えるマントくんらく群落にも多い。体長おお♂ 68～90mm、♀ 75～95mm。8月末～11がつ月に成虫。北海道南部、ほっかいどうなんぶ本州、ほんしゅう四国、九州；たいわん台湾、ちゅうごく中国、ちようせんはんとう朝鮮半島に分布。

ひょうごけんない 兵庫県内の分布域





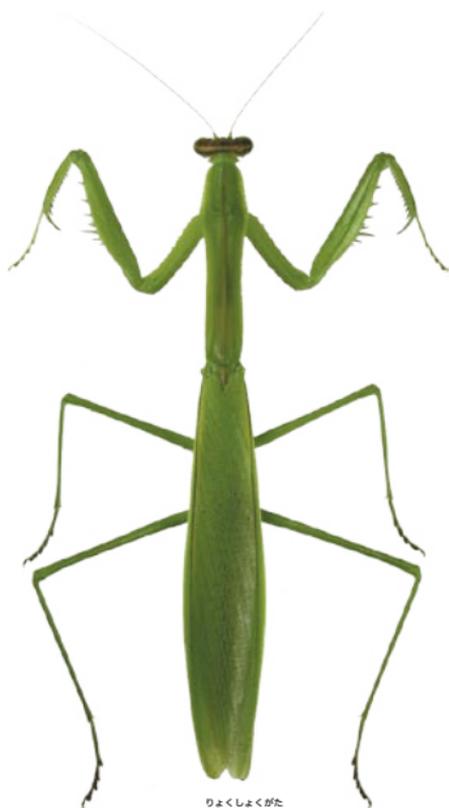
オス (ほとんどがこの色^{いろ})



オス ^{りょくしよくがた} 緑色型

^{りょくしよくがた} 緑色型のオスは ^{めずら} 珍しい

カマキリ (チョウセンカマキリ) *Tenodera angustipennis*



メス 緑色型



オス 褐色型

河川敷や草原、田んぼ・畑のわきなどにすむ。オオカマキリやウスバカマキリと一緒に見つかることも多い。体長♂ 65 ~ 90mm、♀ 70 ~ 90mm。9月 ~ 11月に成虫。本州、四国、九州；台湾、中国、朝鮮半島、東南アジアに分布。

兵庫県内の分布域



オオカマキリとカマキリの^{み わ かた}見分け方

オオカマキリ



^{まえあし} ^つ ^ね ^{きいろ}
前脚の付け根がうすい黄色

カマキリ



^{まえあし} ^つ ^ね ^{いろ}
前脚の付け根がオレンジ色

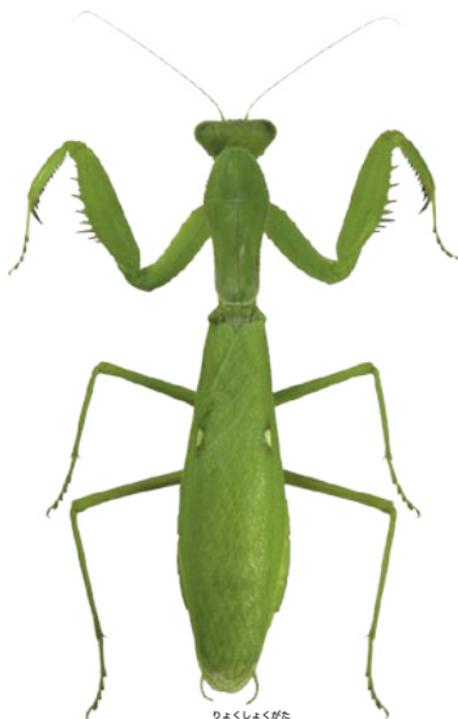


^{こうし} ^{いろ}
後翅に色がついている



^{こうし} ^{むしよく}
後翅はほとんど無色

ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera*



メス りよくしよくがた 緑色型



オス りよくしよくがた 緑色型

はやし へり き うえ き は
林の縁の樹の上にすむ。樹がまばらに生える
こうえん ばしよ み たいちよう
公園のような場所でもよく見つかる。体長め
45 ~ 65mm、♀ 55 ~ 70mm。9月 ~ 11
がつ せいちゆう ほんしゆう しこく きゆうしゆう たいわん ちゆうごく
月に成虫。本州、四国、九州；台湾、中国、
ちようせんはんとう とうなん ぶんぶ
朝鮮半島、東南アジアに分布。

ひようごけんない ぶんぶいき
兵庫県内の分布域





ハラビロカマキリの褐色型はときどき見つかる

ムネアカハラビロカマキリ *Hierodula* sp.



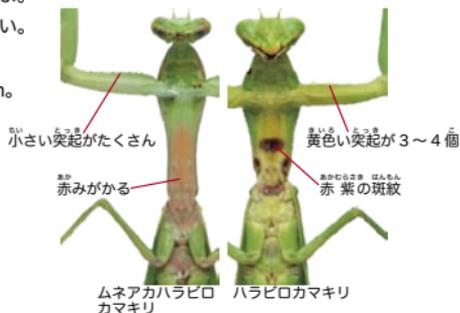
メス



オス

2000年代半ば以降、本州各地で見つかるようになったハラビロカマキリのみなま。今後、兵庫県でも見つかる可能性が高い。ハラビロカマキリよりも大きい。体長♂ 64～83mm、♀ 71～80mm。

●ハラビロカマキリとの見分け方



ムネアカハラビロカマキリ ハラビロカマキリ

※いずれの画像も山崎和久氏提供